

眼科この1年

眼科医長 菅野晴美

人事異動

平成13年は、1月から3月まで小川俊彰、横田陽匡の2名で診療を行っておりました。4月から横田が旭川医大へ転出し、4月は小川俊彰1名による診療となり、5月に倶知安厚生病院より澤木渉が赴任し、5月・6月は小川俊彰、澤木渉の2名で診療を行いました。7月に約5年間眼科医長を勤めた小川俊彰が旭川赤十字病院へ転出し、旭川赤十字病院より菅野晴美が赴任し、澤木渉と2名で診療を開始しました。

診療状況

医師2名、看護婦2名そして視能訓練士1名で対応しております。外来は毎日午前中と月曜日の午後行っており1日平均100名で昨年と変わりありませんでした。火曜、金曜の午後は手術、水曜日の午後は蛍光眼底造影などの検査とレーザー治療を行い、本年5月より視能訓練士の佐々木美加が外来に加わったため木曜日の午後にコンタクトレンズ外来（新患、要予約）を再開することができました。通常外来での視力検査の精度もまし、小児の視力測定の適応年齢拡大や、今までは行えなかった弱視訓練もできるようになりました。

入院・手術

眼科の病棟は4階東で、消化器内科との混合病棟です。ベット数は10床で、平均7名が入院しています。毎週8例の手術を行っていますが、入院待ちは1ヶ月程度です。

年間手術件数は338例でやや増加しています。手術件数の8割を占める白内障手術は近年驚異的に進化し、手術時間と入院期間が短縮しました。最近は運転免許を通過するため手術をする方が増えてきております。逆に網膜剥離の手術は、全国的に硝子体手術と白内障手術を同時にすることが主流となり、硝子体手術機器のない当院では高齢の網膜剥離患者は、他院へ紹介する事が多くなりそうです。

平成13年度 手術件数

白内障	280例
緑内障	3例
網膜剥離	5例
硝子体出血	3例
翼状片	22例
眼瞼内反	9例
眼瞼下垂	3例
眼外傷	8例
その他	5例
計	338例